

第9回 スポーツツーリズム・コンベンション

交流ネットワークの再構築をめざして～ニューノーマル時代のスポーツ・文化ツーリズム～

2021.2.10 wed 13:00-16:45 オンライン開催

参加申込 | <https://jsta-sporttourism-convention09.peatix.com>

- 1 13:00- 基調講演
- 2 13:45- 先行事例から見出す武道 (BUDO) ツーリズムの展望
- 3 14:20- スポーツアクティビティとワーケーションの可能性
- 4 15:15- シンポジウム「スポーツコミッションの設立に向けて～その時自治体担当者は～」

基調講演

【ビデオメッセージ】 スポーツ庁長官 室伏 広治氏



一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 代表理事
原田 宗彦

ペンシルバニア州立大学で博士号 (Ph.D.) を取得し、フルブライトのシニアリサーチャーとしてテキサス A&M 大学で研究を行う。国立体育大学、大阪体育大学を経て、現在は早稲田大学スポーツ科学術院教授。学外では、アジア・スポーツマネジメント学会の会長等を務めた後、現在は、JSTA 代表理事、日本スポーツマネジメント学会会長、公益財団法人バレーボール協会理事などを務める。スポーツマネジメント、スポーツマーケティング、スポーツツーリズム、レジャー研究の分野での著書が多数ある。



公益社団法人日本トリアスロン連合 (JTU) 専務理事
ワールドトリアスロン 副会長
公益財団法人日本オリンピック委員会 (JOC) 理事
大塚 眞一郎 (JSTA 理事)

1984 年から国内外においてトリアスロン競技の普及に努め、トリアスロンオリンピック正式競技入りのロビイング活動に尽力。2013 年 IOC 総会での 2020 東京オリンピック・パラリンピック東京大会開催の招致活動をサポート。アジアトリアスロン同盟 (ASTC) では 2019 年 6 月に事務総長に。国際トリアスロン連合 (ITU) では 2004 年から理事、2016 年には副会長に当選。また、2019 年 2 月から 2020 年 9 月までスポーツ庁参与を務めた他、JOC 総務本部副本部長、マーケティング委員会副委員長・JOC オリンピックムーブメント部会長等を兼任。

先行事例から見出す武道 (BUDO) ツーリズムの展望



一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー
企画・施設事業部企画課 主査
酒井 達也氏

大学で取得した社会調査士の資格を活かし、外国人観光客満足度調査、外国人観光客受入に関する実態調査、観光産業実態調査等様々な調査分析業務を行う。また、ツーリズム EXPO ジャパン 2020 沖縄開催誘致、広域連携 DMO 登録、訪日 GC 事業など新規案件の企画提案にも数多く携わり、沖縄観光の新たな魅力創造に取り組んでいる。2003 年に沖縄に移住し現在ではウチナンチュとして沖縄生活を満喫している。



日本航空株式会社 地域事業本部
大槻 政直氏

平成元年入社後、国内国際線販売部を中心に支店勤務を行い、平成 30 年に地域事業本部、九州山口地区代表を拝命。“人・物・情報の交流”をコンセプトに地域活性化事業に取り組む。主な取り組みに、海外物流の構築 (生鮮鮮魚の輸出)、城・古民家再生による地域プロデュースを手掛けている。

スポーツアクティビティとワーケーションの可能性



株式会社日本総合研究所 地域・共創デザイングループ
Sports Innovation Team. コンサルタント
佐藤 俊介氏

2008 年東北大学大学院修了。建設コンサルタント会社にて社会インフラ整備事業に従事。2014 年株式会社日本総合研究所に入社、官民連携による公共事業コンサルティング業務に従事。2017 年官民人事交流制度によりスポーツ庁に入庁、地域のスポーツ環境整備による地域振興に関する政策推進に従事。2019 年より現職に復帰、Sports Innovation Team. を立ち上げ、スポーツにより社会課題解決を目指す事業に従事。



株式会社矢野経済研究所
コンシューマー・マーケティングユニット スポーツグループ部長
三石 茂樹氏

1968 年東京都生まれ。株式会社矢野経済研究所 コンシューマーマーケティングユニット スポーツグループ部長。スポーツ用品メーカー勤務を経て矢野経済研究所に入社、以降一貫してスポーツバイク、ゴルフ、釣りを中心としたスポーツ産業調査に従事。近年は「スポーツを介した地方創生」の実現に向けた戦略提案をチャレンジテーマとして活動している。

シンポジウム「スポーツコミッションの設立に向けて～その時自治体担当者は～」

秋田県大館市 観光交流スポーツ部 スポーツ振興課
スポーツ交流推進係 係長 工藤 史尚氏



1969 年「忠犬ハチ公のふるさと」秋田県大館市生まれ。龍谷大学経済学部を卒業し、1993 年に大館市役所に採用 2016 年 4 月に新設となった教育委員会スポーツ振興課スポーツ交流推進係長としてホストタウン事業に携わり、タイ王国パラリンピック競技 (ボッチャ・陸上) の事前キャンプを誘致。併せてスポーツコミッション設立のタイミングを伺う。庁内の機構改革によりスポーツ振興課が市長部局となった 2020 年 4 月より現職。

茨城県笠間市 都市建設部 都市計画課
課長 横山 孝夫氏



1996 年茨城県入庁。土木分野を専門とし、ナショナルサイクリングルートに選定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」等の担当を経て、2019 年 4 月から現職。国内最大級のスケートパーク建設に携わる。歴史と文化に彩られた自然豊かな笠間市において、一見スマッチなアーバンスポーツをどのように生かしていくか、「住みよいまち訪れてよいまち笠間」を目指して奮闘中。スケートボードはド素人。

広島県 地域政策局 スポーツ推進課
グループリーダー 河本 卓也氏



平成 10 年、広島県入庁。以降、土木建築局、県立広島大学、教育委員会、経営戦略チームなどを経て、現在はスポーツ関係業務に従事。平成 29 年、東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおけるメキシコ選手団の事前合宿の誘致に携わり、令和元年からは「スポーツを活用した地域活性化」に向け、広島県スポーツコミッションの設立を担当。令和 2 年 4 月、広島版スポーツコミッションである「スポーツアクティベーションひろしま」の設立とともに、その一員として取り組んでいる。

コーディネーター：一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 地域スポーツ戦略ディレクター 藤原直幸